

事案名	善通寺市の事案（香川県37-1）
分類	<input type="radio"/> 生産・保有 <input type="radio"/> 廃棄・遺棄 <input type="radio"/> 現在の状況
資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・『旧軍毒ガス弾等の全国調査』のフォローアップ調査における調査結果について（送付）平成15年8月29日〔1〕</li> <li>・『旧軍毒ガス弾等の全国調査』のフォローアップ調査平成15年10月10日〔2〕</li> <li>・『旧軍毒ガス弾等の全国調査』のフォローアップ調査について平成15年10月3日〔3〕</li> </ul>
資料内容概要	<p>香川県善通寺市には四国軍管区司令部の兵器庫があり、缶や瓶に入ったイペリット、催涙剤、くしゃみ剤など各9リットル程度が保有されていたが、終戦時にはほとんど残存していなかったと思われるとの証言がある。</p> <p>○生産・保有情報</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・元軍参謀の証言によると、「善通寺に存在した四国軍管区司令部の兵器庫に、イペリット、催涙剤、くしゃみ剤等が缶又は瓶にて各9L程度が保有されていた。終戦時には訓練又は、実験の用途に用いられ、ほとんど残存していなかったと思われる」としている〔1〕〔2〕。</li> </ul> <p>○廃棄・遺棄情報</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・元軍参謀の証言として、「終戦後、徳島連隊は残った武器を廃棄したと聞いた。善通寺司令部の兵器庫にあったものについては、練兵場敷地内病院前の井戸に投棄したと記憶しているが、その際に毒ガスが投棄されていたのかどうかについては定かではない」と記載されている〔1〕〔2〕。</li> </ul> <p>○現在の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・兵器部のあった場所は、現在、陸上自衛隊が善通寺駐屯地として使用しており、終戦前の建物も利用している〔3〕。</li> <li>・練兵場内の陸軍病院(分院)の所在地は、現在、国立病院となっている。当時から使用している井戸が一箇所あるが、証言の井戸かどうかは不明である。当該井戸は飲用水として使用しているが、水質に異常があったことはない〔3〕。</li> </ul>